

2017年度第3四半期決算説明資料

証券コード：5332

2018. 1. 31

2017年度第3四半期決算概要

ハイライト

増収増益。売上高、営業利益、経常利益は過去最高

グローバル住設事業（日本）：増収・営業利益横ばい

- ◆リモデルは増収増益。新築は減収減益
- ◆原材料価格の高騰等により営業利益は横ばい

グローバル住設事業（海外）：増収増益

- ◆好調な中国事業が牽引
- ◆アジア、米州も好調に推移

新領域事業：増収増益

- ◆セラミック事業は引き続き需要が強く、大幅増収増益

2017年度第3四半期決算

P/L概要

単位：億円

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	4,159	4,354	+195 (+5%)	+19	+176 (+4%)	4,369	▲15 (▲0%)
営業利益 [営業利益率]	348 [8.4%]	378 [8.7%]	+30 (+9%)	+2	+28 (+8%)	377 [8.6%]	+1 (+0%)
経常利益	360	401	+41 (+11%)	+2	+39 (+11%)	399	+2 (+0%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	247	262	+15 (+6%)	+1	+14 (+6%)	259	+3 (+1%)

■為替レート

	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1ドル	115.4円	108.0円	102.4円	109.4円	113.6円	111.1円	111.0円	113.0円
1元	17.6円	16.5円	15.4円	16.0円	16.6円	16.2円	16.6円	17.1円
1ユーロ	127.2円	121.9円	114.3円	117.9円	121.1円	122.3円	130.4円	133.0円

今年度より海外グループ会社損益の為替換算レートを期末日レートから期中平均レートに変更。当資料の前年度に関する情報は、全て遡及適用後の数値を記載。

2017年度第3四半期決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	3,105	3,144	+39 (+1%)		+39 (+1%)	3,158	▲14 (▲0%)
住設事業 (海外)	895	1,002	+107 (+12%)	+15	+92 (+10%)	1,002	+0 (+0%)
新領域	156	205	+49 (+31%)	+4	+45 (+29%)	206	▲1 (▲1%)
その他	1	1	+0		+0	2	▲1
合計	4,159	4,354	+195 (+5%)	+19	+176 (+4%)	4,369	▲15 (▲0%)

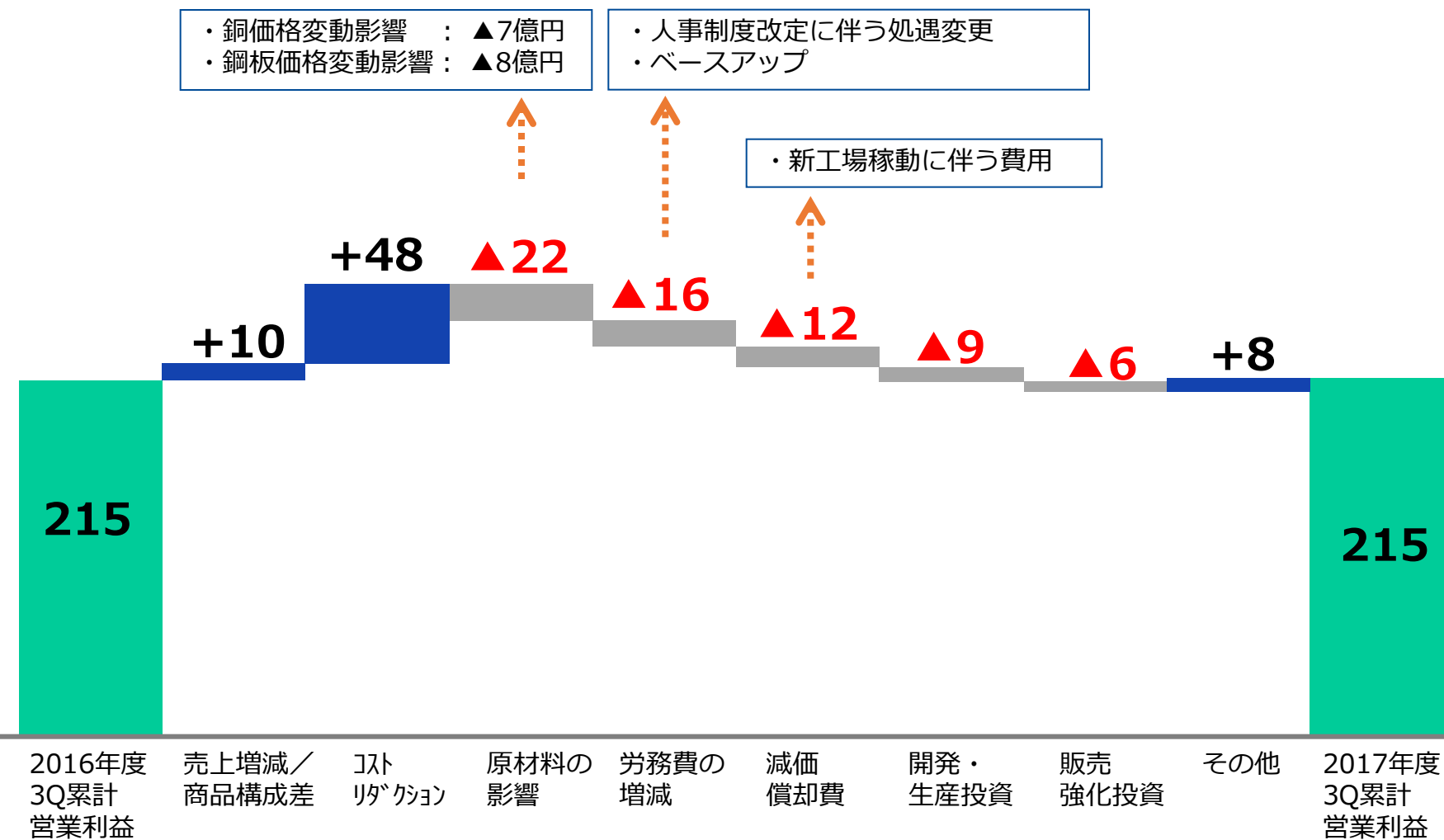
<営業利益>	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	215	215	+0 (+0%)		+0 (+0%)	219	▲4 (▲2%)
住設事業 (海外)	166	184	+18 (+11%)	+2	+16 (+9%)	180	+4 (+2%)
新領域	0	6	+6 (-)	+0	+6 (-)	7	▲1 (▲2%)
その他	▲34	▲28	+6		+6	▲29	+1
合計	348	378	+30 (+9%)	+2	+28 (+8%)	377	+1 (+0%)

2017年度第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異）

単位：億円



2017年度第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	計画	計画差
売上高	2,096	2,153	+57 (+3%)	2,165	▲12
営業利益	176	182	+6 (+3%)	184	▲2
営業利益率	8%	8%	+0pt	9%	▲1pt

<新築>

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	計画	計画差
売上高	1,008	991	▲17 (▲2%)	993	▲2
営業利益	38	33	▲5 (▲14%)	34	▲1
営業利益率	4%	3%	▲1pt	3%	▲0pt

リモデルは新商品好調により増収増益。
新築は減収減益も、需要との乖離縮小。

2017年度第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)
衛生陶器	625	657	+32 (+5%)	60	61	+1 (+1%)
ウォシュレット	687	708	+21 (+3%)	98	108	+10 (+10%)
水栓機器	666	677	+11 (+2%)	52	44	▲8 (▲15%)
浴室	721	715	▲6 (▲1%)	30	18	▲12 (▲40%)
キッチン・洗面	340	325	▲15 (▲4%)	▲16	▲12	+4 (-)
その他	64	60	▲4 (▲6%)	▲10	▲4	+6 (-)
合計	3,105	3,144	+39 (+1%)	215	215	+0 (+0%)

新商品が牽引し、衛生陶器・ウォシュレット・水栓機器が伸長。

2017年度第3四半期決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差(前年比)	為替影響除 前年差(前年比)	計画	計画差
中国	452	535	+83 (+18%)	+80 (+18%)	534	+1
アジア	196	213	+17(+9%)	+ 11 (+6%)	213	▲0
米州	216	226	+10 (+5%)	+4(+2%)	226	+0
欧州	30	27	▲3 (▲8%)	▲3(▲11%)	27	+0
合計	895	1,002	+107(+12%)	+92(+10%)	1,002	+0

営業利益	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差(前年比)	為替影響除 前年差(前年比)	計画	計画差
中国	115	135	+20 (+17%)	+19 (+17%)	134	+1
アジア	41	41	+0 (+1%)	▲1 (▲2%)	38	+3
米州	15	17	+2 (+17%)	+2 (+15%)	16	+1
欧州	▲4	▲9	▲5 (-)	▲4 (-)	▲9	+0
合計	166	184	+18(+11%)	+16 (+9%)	180	+4

引き続き好調な中国事業が牽引し、海外全体で増収増益。

2017年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

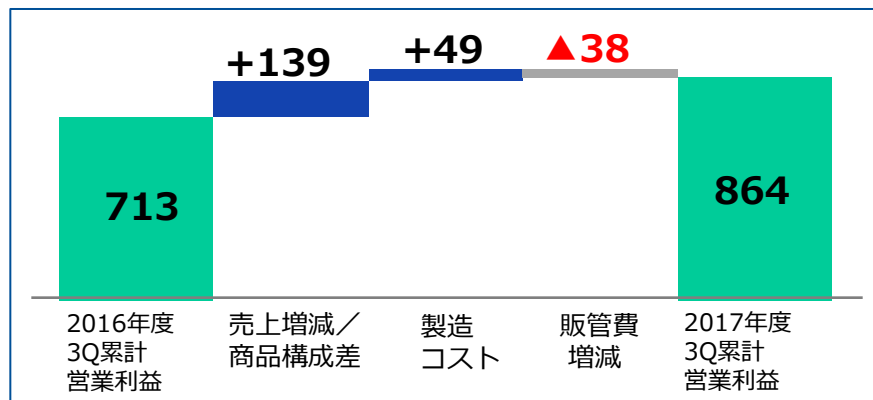
P / L

単位：百万元

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)
売上高	2,748	3,229	+481 (+18%)
営業利益	713	864	+151 (+21%)
営業利益率	26%	27%	+1pt

営業利益の増減要因

単位：百万元



為替レート	2016年度3Q	2017年度3Q
1元	15.4円	16.6円

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+8%。通期では+15%の見込み。

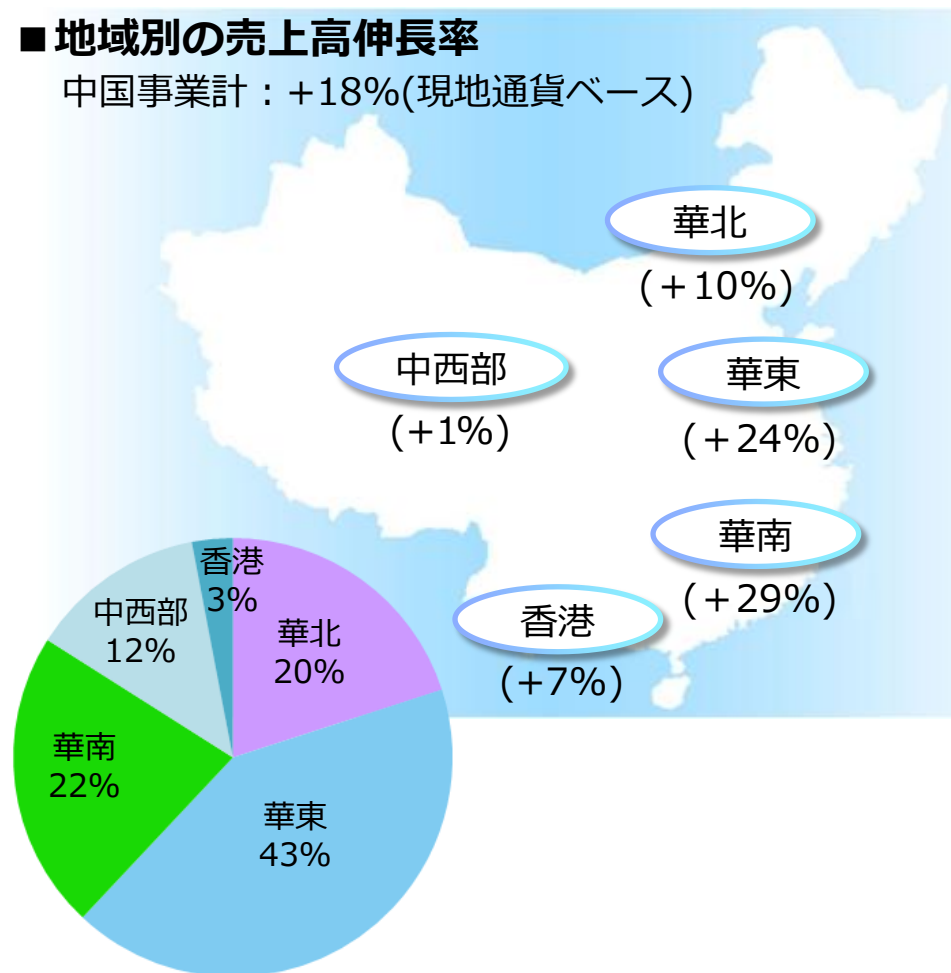
引き続き好調。大幅増収増益。

2017年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+18%(現地通貨ベース)



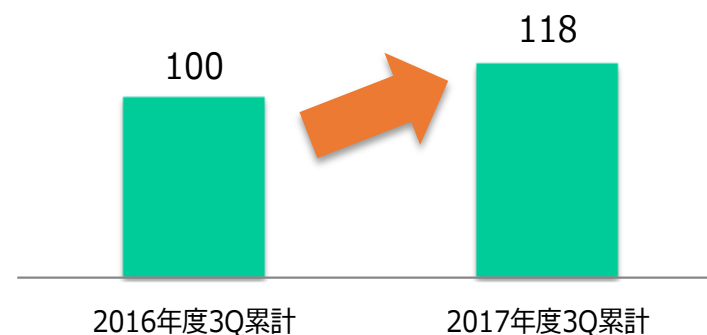
■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+24%
ウォシュレット	+18%
水栓金具	+24%

■ ウォシュレットの販売台数伸長

2016年度3Q累計を100とした指数



華東・華南が引き続き大幅伸長。全商品とも好調に推移。

2017年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

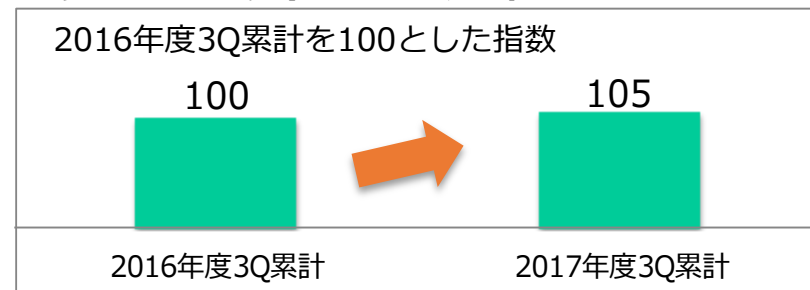
台湾

単位：百万台湾ドル

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年比 前年差
売上高	2,735	2,580	▲6%
営業利益	699	605	▲94
営業利益率	26%	23%	▲3pt

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+2%。
通期では▲4%の見込み。

■ウォシュレット販売台数の伸長



為替レート	2017年度3Q
1台湾ドル	3.67円

ベトナム

単位：10億ドン

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年比 前年差
売上高 (外部顧客売上高)	1,980 (1,117)	2,186 (1,301)	+10% (+16%)
営業利益	423	454	+31
営業利益率	21%	21%	▲0pt

為替レート	2017年度3Q
1ドン	0.00483円

第4四半期(10月～12月)の外部顧客売上高伸長率は前年
同期比+20%。通期では+18%の見込み。

台湾は引き続き市況が厳しく、減収減益。
ベトナムは、新工場立ち上げ費用増も、順調に成長。

2017年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

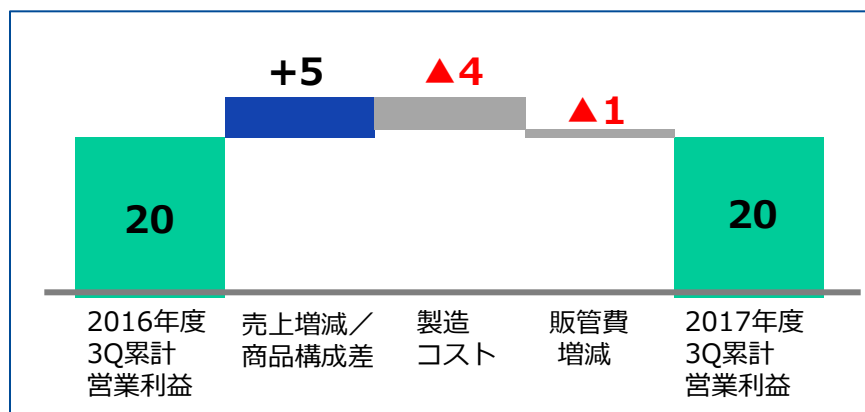
P / L

単位：百万ドル

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)
売上高	199	202	+3 (+2%)
営業利益	20	20	+0 (+1%)
営業利益率	10%	10%	▲0pt

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



為替レート	2016年度3Q	2017年度3Q
1ドル	102.4円	111.0円

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+15%。通期では+5%の見込み。

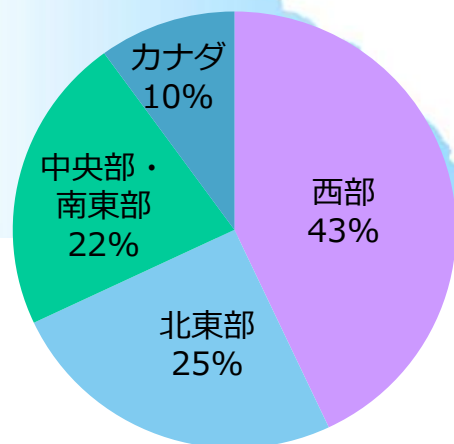
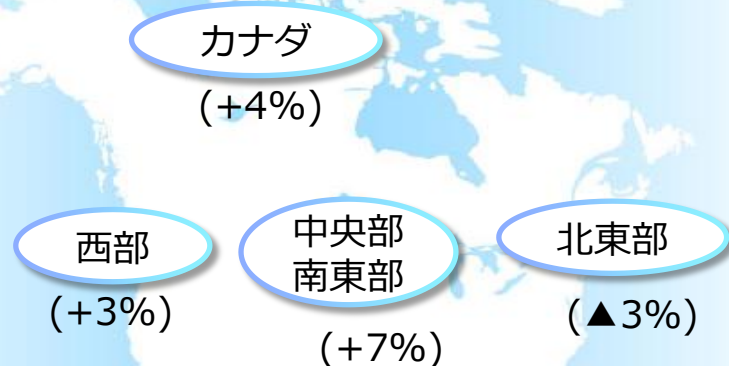
増収、営業利益横ばい。

2017年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+2%(現地通貨ベース)



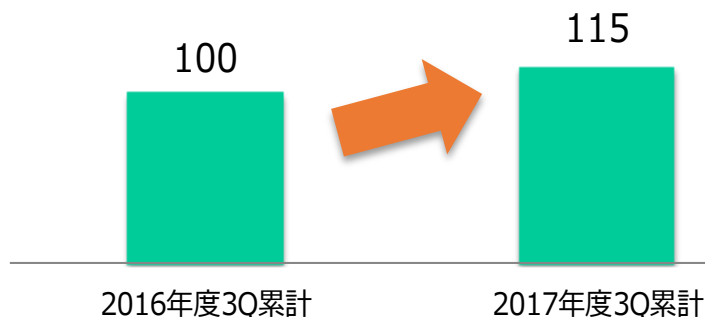
■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+2%
ウォシュレット	+12%
水栓金具	▲5%

■ ウォシュレットの販売台数伸長

2016年度3Q累計を100とした指数



第4四半期(10~12月)は前年同期比+80%と大幅伸長。通期では3割増を達成。

西部、中央・南東部を中心に伸長。引き続き、ウォシュレットが伸長。

2017年度第3四半期決算

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

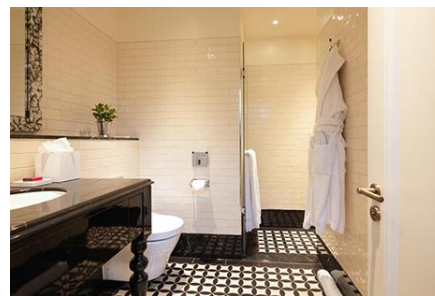
単位：百万ユーロ

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)
売上高	23	20	▲3 (▲11%)
営業利益	▲2	▲7	▲5 (－)

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比▲4%。
通期では▲10%の見込み。

為替レート	2016年度3Q	2017年度3Q
1ユーロ	114.3円	130.4円

■採用事例：The LaLiT London（ザ・ラルリット・ロンドン）5つ星ホテル／イギリス（ロンドン）



The LaLiT Londonは、180年前の建造物を利用した、ロンドンの中心部、タワー・ブリッジ駅から程近い場所にある5つ星ホテル。TOTOのトイレ（ウォッシュレット含）が採用。

減収減益。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2017年度第3四半期決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	90	142	+52 (+57%)	+4	+48 (+53%)	143	▲1
営業利益	5	9	+4 (+62%)	+0	+4 (+60%)	10	▲1
営業利益率	7%	7%	+0pt			7%	▲0pt

環境建材事業

単位：億円

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	65	62	▲3 (▲5%)		▲3 (▲5%)	63	▲1
営業利益	▲5	▲2	+3 (-)		+3 (-)	▲3	+1

セラミック事業が牽引し、大幅増収増益。

社会貢献活動——TOTO水環境基金

未来に向けて大切な水資源を有効に活用し、社会が持続的に発展していくことを目的に水環境保全にかかわる活動を支援。2005年の設立以来、12年間で延べ239団体に約3億円を助成。国内40都道府県、アジア・アフリカ13カ国に活動が広がっている。

■ 2017年度（第12回）助成団体プロジェクト例



団体名：プラン・インターナショナル・ジャパン

概要：子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために活動を展開する、国連に公認・登録された国際NGO。1937年創立、日本事務所は1983年に設立。

活動内容：アジア・アフリカ・中南米の途上国51カ国で、「教育」「保健」「水と衛生」などの8つの分野の改善を重視して支援。当基金も活用し、ベトナム・コントウン省にて衛生習慣を身につけるための参加型トレーニングの実施およびトイレを設置。



団体名World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia

概要：カンボジアの地方の貧しい子供に、教育、保健衛生、農村開発、技術分野を援助しているNPO。内戦の20年間で荒廃したカンボジアの復興を支援するために1993年に設立。

活動内容：世界銀行やアジア開発銀行の助成金、個人等からの寄付金を募り、カンボジア全域に小中学校550校を建設、カンボジア政府と連携し公立学校への寄贈を実施。孤児院・全寮制奨学生徒の育成、病院・診療所を開設等も支援。当基金も活用し、学校の井戸やトイレの建設など実施。

■ TOTO水環境基金のしくみ

ご購入いただいた商品の節水量などに
応じて基金へ拠出

節水商品ご購入

環境貢献に応じて拠出額を算出

お客様	節水商品による節水効果
株主様	株主優待制度による寄付
社員	ボランティア活動への参加人数
TOTO	上記3つの拠出へのマッチング

市民団体・NPO・NGOを助成

グループ社員がボランティア参加

TOTOホームページで広く活動への参加を募集

助成団体（地域社会）と協働で
環境課題を解決

中国における継続的な社会貢献活動

中国における節水・水資源保全を通じた社会貢献活動のため「中華環境保護基金会TOTO水環境基金」に2018～2022年の5年間で総額600万元（約1億円）を寄付（3期累計で1,600万元（約2億6,000万円））



中華環境保護基金会TOTO水環境基金

中国の環境保護事業発展の一環として、地域社会に関わる水環境の保全活動援助のため、2008年に「中国環境保護基金会TOTO水環境基金」を東陶（中国）有限公司と中華環境保護基金会との合意により設立。5年ごとに更新を行っており、今回で3期目を迎える。

中華環境保護基金会：1993年4月に成立した中国で初めての環境保全事業基金会。独立法人の非営利団体。

調印式の様子（2017年11月）
左：東陶（中国）柳原副董事長
右：中華環境保護基金会 徐光秘書長

■ 現地の声

水道設備を設置した現地の方からは、

- ・水道設備を改善してから、お水がきれいになって、安心して飲めます。
- ・以前は水道から出たお水が濁っていましたが、今はとても綺麗になりました。

といった喜びの声をいただいている。

その国・地域に根ざした会社となるために、今後も地道な社会貢献活動を継続していく。



TOTO商品の孤児院への寄付の様子



河北省围场県先任学校での水道供給設備建設

TOTOミュージアム

優秀な建築物を表彰する「第58回 BCS賞」を受賞



TOTOミュージアムの外観

TOTOミュージアム

建築主：TOTO株式会社
設計者：株式会社 梓設計
建築者：鹿島建設株式会社
竣工日：2015年5月31日

TOTOミュージアム

TOTO創立100周年記念事業の一環として建設。外観デザインは「緑豊かな大地」と「水滴」をイメージし、TOTOの過去から現在、未来を伝える施設として2015年8月にオープン。2018年1月、来館者が20万人超え。

評価された点：

「大地とそれを潤す水滴をイメージし、衛生陶器のように白く滑らかな3次曲線によるフォルムの建築である。歴史を伝えるミュージアムとショールーム、研修施設からなる環境配慮型施設であり、地域に潤いを与えている。」

BCS賞：

昭和35年創設。
一般社団法人日本建設業連合会国内が主催し、良好な建築資産の創出を図り、文化の進展と地球環境保全に寄与することを目的に優秀な建築物を表彰。
建築主・設計者・施工者に対し授与される。

このプレゼンテーション資料は、2018年1月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO